

令和6年度 第8回春日市教育委員会定例会 議事録

1 開会及び閉会に関する事項

- ① 日 時 令和6年10月29日（火）
開会 午前9時00分
閉会 午前9時30分
- ② 場 所 春日市役所4階405、406会議室

2 出席委員の氏名

教 育 長	扇 弘 行
委 員	安 本 誠 一
委 員	宮 崎 泰三郎
委 員	足 達 好 子
委 員	黒 岩 眞理子

3 委員を除き会議に出席した者の職氏名

教 育 部 長	金 堂 円一郎
教育総務課長	武 末 竜 久
学校教育課長	山 下 江 利
地域教育課長	萩 原 裕 之
教育総務課長補佐	小 嶋 健 朗
教育総務課主任	松 尾 高 志

4 議事の概要

別 紙

午前 9 時00分 開会

【第 1 会議録署名委員の指名】

○扇教育長

委員全員出席です。ただいまから令和 6 年度第 8 回春日市教育委員会議定例会を始めます。

始めに、会議録署名委員の指名を行います。安本委員を指名いたします。

【第 2 報告事項】

(1) 教育長報告

○扇教育長

スマートフォンの普及に伴い、小中学生もスマートフォンを持つようになると、様々な問題が新たに生じています。そういった部分は、本来であれば家庭で教育していただくものであろうかと思いますが、児童生徒自身を守るためにも、スマートフォンの使い方や SNS の利用に潜む危険性について、学校で講師を依頼するなどして周知していきたいと思っております。

また、スマートフォンの使い方等については、教育長と学校長の連名で保護者宛に文書を配布することも考えております。

○安本委員

最近の報道でも、SNS の利用による性被害や特殊詐欺事件などを頻繁に目にします。子どもたちが安易にネット上で行う行為が、将来に大きな影響を与えることもあるのだと、そのリスクに危機感を感じるくらいの講話をしてもいいのではないのでしょうか。

○黒岩委員

スマートフォンの使い方に関しては、一番は家庭の問題であろうと思います。

今やスマートフォンがあるのは当たり前の状況で、子どもにとっても身近なものとなっているので、学校としては、小学校での指導から、より具体的にこういった事件があるとか、こういう危ないことがあるということを教える必要があると思います。

○宮崎委員

私が教育委員になってすぐの頃、性教育はできてますかとお尋ねしたところ、できてますっていうお返事をいただきました。

中学校になって保健体育で教える内容ではなくて、未就学の頃から、小学校の低学年、中学年、高学年そして中学校とも一貫した性教育というのが必要だと思っています。

未就学児には自分の体の大切さを教えて、他人に見せたら駄目だよってというような教育から始めることで、SNSでの性被害なども防いでいくことになるのではないのでしょうか。

○黒岩委員

性教育の指導は、小学校のうちからカリキュラムの中に入れられていると思います。

子どもたちを見ていて思うのは、こうしたらこうなるっていう、その想像力が欠如しているような気がします。やったことの代償があって、最終的には自分の人生が左右されるようなことになるかもしれない。

少し話が変わりますが、少し前のテレビで、警固界わいの話が出ていました。

警固公園辺りに九州の子どもたち、家庭で虐待を受けた子とか、居場所のない子たちが集まってきて、しかもそれが小学生だったり中学生で、平気でたばこは吸っているし、薬の乱用で、もう頭ふらふらになって寝転がったりしてて。でも、その子たちにインタビューをしたら、何か本当にかわいそうでもあるんです。自分は名前で呼ばれたことがなくて、家でもお前としか言われなくて、名前を呼ばれたら涙が出るとか。

日本全体は少子化とか、子どもを大事にと言いながら、一体どうなってるんだろうと思いました。家庭も、子どもたちも、日本全体が一体どうなるんだろうって。でもやっぱりそこで、教育が大事なのだということを痛感して見ていました。

そこにいる子どもたちも、まだまだ50年も先、生きなきゃいけない。やっぱり自分で生きていくっていう、自分の未来、将来に希望が持てるような、そういう発想になる子供たちを育てるにはどうしたらいいのかなと思いながら見ていました。

○足達委員

最近、やはり家庭教育力が落ちていると思います。

以前、私も家庭教育学級によく通っていましたが、そういうところに来る人も少なくなりました。

また、PTAで教養委員会が集まって、例えばスマートフォンに関する話を聞いたりすることもありましたが、最近はそのようなPTA活動が少なくなって、本当に家庭の教育力が低下しているように思います。

今は、子どもを叱らない親が多いのではないかと感じてます。昭和的な、コラーッと怒る人がいなくなって、なんでもしていいんじゃないかと子どもは勘違いしているんじゃないかと思うことがあります。公民館でも平気で、サッカーボールをガラス戸や網戸に当たったりします。注意すると、戸の横に当たってるだけだって言い返されたり。そういうことが、家庭でも全然教育されていないようです。親が放任し過ぎてる今の子どもたちが、これから20年30年たったとき、人の親になったときどうなるんだろうと、とても不安が感じら

れます。

家庭の教育力をどうにかして上げなければいけないと思います。面倒だから家庭教育学級等に行かなくてもいい、教養委員会もなくてもいいというような風潮は少し考え改めるべきときじゃないかなと思っています。参加者が少ないとしても、取り組んでいる人もいるということを、周りから見ていただきたい。

また、子どもとの接し方等についても、何も聞かないで自分だけの判断でやるのと、人から聞いたことをもう1回自分で考え直してやるのでは全然違う。親もいつも真剣に一生学習し続けなければいけないということを、どこかで発信していく必要があると思います。

○金堂教育部長

宮崎委員がおっしゃった、幼少期から中学校へと一貫した性教育の必要性を感じるというくだりと、黒岩委員がおっしゃった、学校の中ではカリキュラムの中に位置付けているというくだり。授業はしていることでしょう。ただそれが、子どもたちが自分事として受け止めているのかというところだと思います。

私たちは、学校現場の先生に中身を伝えて、それを実践していただかないといけません。カリキュラムでしているものを、例えば指導主事から各学校の先生たちに、自分事としてとらえてもらうような教育をやっていただくよう伝えていくしかないのではないかと感じています。

今日の話としては、義務教育に入ってからどうにかするものでなく、就学前からの親の関わり、考え方が重要です。とはいえ、最終的に子どもたちの最善の利益のためと考えると、放置は出来ません。私たちができることとして、ある程度の学習能力や、いろいろな方との交わりの中で社会性を身につけてもらい、社会に送り出すこと。とにかく、カリキュラムを処理するとかこなすだけで終わらないようには、学校現場の方にも留意していただきたいと思います。

○宮崎委員

カリキュラムや教科書のとおりには教えていても、大事なところが飛んでいたりすることもあるかと思います。

例えば、こういった部分は外部に委託するなどの方法も考えていかないといけないだろうと思います。

○扇教育長

本日いただいた意見をもとに、親子同席での講座であるとか、これまでも行っている「かすがかていのちから」の配信等をやっていききたいと思います。

また、中学生のためのマナーや生き方の読本を作り上げたいと思っています。日本人としての生き方、ものの考え方やルール、そしてその中にはスマートフォンやSNSについて

でも入れるようにして、教育委員会名で全中学生に配布するようにいたします。それをまずやって、次は更にバージョンアップするため、少しレベルを下げて、小学生向けにわかりやすいものを作って、保護者を巻き込んだ形でやっていきたいと思っておりますので、何か御意見等がありましたら、いつでも言っていただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

(2) 事務局報告

○山下学校教育課長

小学校の運動会について、11月2日土曜日に5校予定されておりますが、あいにくの雨予報になっております。情報が分かりましたら早急に共有させていただきます。

【第3 調整事項】

(1) 11月定例教育委員会議の日程について

令和6年11月19日（火） 午前9時 決定

(2) 12月定例教育委員会議の日程について

令和6年12月24日（火） 午前9時 予定

(3) 11月教育委員懇談会の日程について

令和6年11月19日（火） 午前10時 決定

(4) 12月教育委員懇談会の日程について

令和6年12月24日（火） 午前10時 予定

午前9時30分 閉会